

指定管理施設・出資法人調査特別委員会 現地調査活動状況

1 日時 令和8年1月15日

2 出席委員

委員長 水岸富美男

副委員長 臼井 友基

委員 向山 憲稔 飯島 力男 久嶋 成美 望月 大輔

土橋 亨 浅川 力三 菅野 幹子 飯島 修

3 欠席委員 なし

4 調査先及び調査内容

(1) 山梨県富士川クラフトパーク【指定管理施設】

問) 自主事業はどのような内容のものか教えてほしい。

答) 公園の設置目的に沿う方向で公園施設を活用し、利用者の増加やサービスの向上に寄与する事業を自主事業としている。当公園では、富士川・切り絵の森美術館の運営、レストラン・売店の運営、バーベキュー施設利用者に対する利便性向上事業、地域の団体や個人と連携したワークショップ事業、園内案内パークカートの運行、臨時飲食物販運営、有料遊具広場の開設を行っている。

問) 様々なイベント自体は自主事業になるのか。

答) イベントについては集客を行うための運営事業であり、イベントを開催することにより指定管理者の収入が増加するというわけではない。

問) 指定管理施設の管理業務・経理状況説明書4ページの収支状況に記載の「指定管理業務に係る収支状況」と「自主事業に係る収支状況」は、会計が別になっているということでしょうか。

答) 委員のおっしゃるとおり、自主事業で得た収益は運営経費に充当しなくてもよいこととなっている。

問) コロナ禍以降、減少していた来場者数が様々な工夫により回復をしてきているということで、本当にすごいことだと思いき感心して聞いていたが、指定管理業務に係る収支状況は赤字が続いているということなので、この辺の状況はどのように分析しているのか。

答) 指定管理者としても広報費を削減するなど経営努力をしているが、最近の物価上昇により収支状況が改善し切れていない。

指定管理者との基本協定書第16条において、「委託料の総額を変更すべき特別な事情が生じた場合は、甲及び乙は、当該総額について協議するものとする」と記載があり、当公園だけではないが、この条項に基づき、今年度は人件費について、先の12月議会にて管理費の増額を行った。収支状況では赤字となっているが、今年度は人件費の補填を行うこととしている。

問) 令和2年度と利用者数を比較すると、令和6年度は1.6倍くらい増加しているが、収支差額のマイナスが増えている要因は何か。

答) 令和2年度はコロナの影響で利用者数が落ち込んだが、当公園は屋外施設が多いので比較的回復が早かった。しかし、当公園の有料施設はカヌー場とその会議室だけであり、自主事業では収益を上げられるかもしれないが、運営経費に充当しなければならないルールにはなっていない。したがって、利用者数が伸びたからといって、収入が改善するといった構造にはなっていない。

問) 株式会社かいたすに伺いたいですが、収支状況を改善するために、有料施設を増やして収入を増やしていくのか、今の事業の中で経費削減して改善していくのか、どのように考えているのか。

答) 事業収入と県からの委託料のバランスを考えながら鋭意努力し、最終的には4年間の指定管理期間の中で、収支差額がゼロになるようにしたいと考えている。

問) これだけ赤字が増えているので、事業の中で利用者に負担してもらおう部分があってもいいと思う。
周辺の町との協力関係について、どのような協力体制で管理、運営を行っているか。

答) 峡南夏祭りでは、峡南5町の協力を得てイベントを行っている。
クラフトパークという名称には、峡南地域の地場産業を知ってもらうというコンセプトがある。
そのような中、クラフトフェアでは、地元の地場産業に従事する職人に参加してもらい、地場産業に触れる機会を設けるなど、主にイベントを通じ地域と協力しながら事業を行っている。

問) 以前に地元の住民の採用にも力を入れてほしいという話があったが、施設や県で力を入れていることはあるか。

答) 公園で働く従業員13名のうち、7名が地元の身延町、2名がそのほかの峡南地域の職員となっている。外部委託先の事業者も地元の優良企業や技術のある企業にお願いしている。

問) 外部委託先として、地元企業の協力を得て地域活性化のために円滑な運営を行っている認識をした。満足度も高い施設であるので、ぜひよりよい発展をお願いしたい。

問) カヌー場はとてもいい施設であるが、水の事故は心配である。その辺りの安全対策はどのよう

になっているのか。

答) カヌーに乗る前に職員が入念に指導を行っており、その職員も国体の選手であるなど、レスキューの手段も心得ている者が対応している。万一落ちた場合でも、指導する職員以外のスタッフもカヌー経験者であり、そのような方々を採用して安全対策を行っているところである。

問) 指定管理施設の管理業務・経理状況説明書の6ページで、利用者の主な意見というところで、「和式のトイレは必要ないと思います。洋式トイレを増やしてほしい。」と記載されており、利用者の意見への対応というところで、「トイレの洋式化については、山梨県へお客様の声をお伝えし、改善要望をします。」とあるが、現在の対応状況はどのようなになっているのか。

答) トイレの洋式化については、現時点では基本的には完了している状態である。ただ全てを改修しているわけではなく、年配の方では洋式に抵抗があるといった声もあり、ほとんどのトイレで各箇所一つは和式を残して洋式化されている状況である。全体で言えば7割が洋式化されている。全てを洋式化することは現段階では考えていない。

問) 要望を聞きながら改善しつつあるという状況でよいか。

答) 今の段階で、しばらく意見を聞いていきたいと考えている。大規模なトイレを全て洋式化することは難しいかもしれないが、小規模なトイレについてはもう少しだけ進める余地はあると考えている。

問) トイレの清潔さはこの後確認したいと思うが、清掃についてはどのような体制で行っているのか。

また、清潔さについての利用者意見はあるのか。

答) 3名の直接雇用の嘱託職員により、一日2回、午前と午後に清掃を行っている。心ない利用者もおり、おむつが残っていることもあり、イベントの後はそのような状況になることが多いが、ゴミ箱は置かないことにしている。きれいにさえしておけば汚さないようになるので、スタッフにより入念に清掃を行っている。

問) トイレが汚いとその場所にいたくない、行きたくないという心理があるので、トイレはきれいにしていただきたい。



※山梨県富士川クラフトパーク公園管理事務所会議室において説明、質疑を行った後、現地視察を行った。

(2) (公財)山梨県青少年協会【出資法人】、山梨県立愛宕山こどもの国【指定管理施設】

問) 指定管理施設の管理業務・経理状況説明書の6ページの利用者満足度で、利用者に行ったアンケートに対して回答をくれた691名は、年代別や親からなのか子供からなのかなど、どのような方からの回答が多いのか分かれば教えてほしい。

答) おおよそ親と子供が半々くらいの割合である。

問) 意外と子供からの回答が多いという印象を受けた。アンケートはどのような形で実施しているのか。

答) 基本的には紙ベースで回答してもらっており、園内のところどころにアンケート用紙を設置してある。職員が回答のお願いをして回ることもある。
また、スマートフォンでQRコードを読み取って回答することもできるようになっている。

問) 駐車場から上がってくるためのスロープが閉鎖されてからかなり時間がたっていると聞いている。これに関する対応状況を教えてほしい。

答) スロープについては、スロープを支えている基礎部分の腐食を発見したことから、安全な利用が保障できないため、令和5年7月から利用を停止している。

スロープを使えるようにしてほしいという要望は認識しているが、現状、道路や水道施設など、公園施設の利用に大きな影響がある部分で修繕を必要としているところが多いため、順次対応を行っているところである。

なお、スロープから少し進むとエレベーターが設置されていることから、階段の利用が困難な公園利用者には、そちらを案内しているところである。

問) 令和5年度のリニューアルの際に、既にその問題が出ていたのではないかと思うので、今後の

対応を考えてほしい。

トイレについて、管理研修棟にあるトイレは夜間に使えないが、園内の別のトイレでは夜間も使えるところがあるので、対応が異なる理由について教えてほしい。

答) 愛宕山こどもの国には、管理研修棟、自由広場、キャンプ場管理棟、芝生広場、変形自転車広場、花の迷路、市町村の森の計7か所にトイレが設置されている。そのうち、管理研修棟、自由広場、キャンプ場管理棟の3か所は夜間施錠を行っており、芝生広場、変形自転車広場、花の迷路、市町村の森の4か所は常時使用可能である。

常時使用が可能なトイレは、造りが古いため人の侵入を確実に阻止できる構造になっていないという事情もあるが、夜間施錠を行っているトイレは、令和4年度までに行った再整備工事により新しくなっており、トイレ内に凍結防止のための電気設備も設置されていることから、夜間施錠が必要と考えている。

問) 夜間というより、早朝に使えるようにしてほしいという声がある。

こどもの国なので子供を中心に利用される場所であるが、それ以外の年代の方も利用されることも考えると、そのような対応も検討してほしい。

問) 愛宕山こどもの国の指定管理施設概要説明書の2ページの運営目標の達成状況において、令和5年度に公園リニューアルをした後、令和6年度には利用者が集中し過ぎないように配慮して運営したとあるが、利用実績を見ると、令和5年度から令和6年度にかけて4万人ほど減少している。

利用者が集中し過ぎないように配慮とは、具体的にどのような対応を行ったのか教えてほしい。

答) 愛宕山こどもの国は令和5年4月26日にリニューアルオープンしたが、その直後のゴールデンウィークに大変多くの利用者が来園した結果、駐車場の許容量を大きく超えてしまい、公道上まで渋滞が発生してしまったため、近隣住民に大変な迷惑をかけた。そうしたことを踏まえ、令和6年度には、愛宕山の麓に臨時駐車場を4か所確保し、そこからシャトルバスや公共交通機関で来園してもらうことで、令和5年度のようなことが発生しないように対応を行った。

問) 利用実績が4万人ほど減少しているということは、前年度から比べると4万人の方が利用できなかったということになると思うので、より多くの方が利用できるようにしてほしい。

指定管理施設の管理業務・経理状況説明書の6ページの、利用者へのアンケートについて、令和6年度に実施したアンケートについては、691人が回答したと記載してあるが、リニューアルの前と後で回答の数や内容に変化があったか教えてほしい。

答) 数としてはリニューアル前と後で大きな変化はない。内容としては、やはりきれいになったなどの評価をいただくことは増えている。また、都会から来る方の回答としては、無料で利用できる施設であるということを喜ぶ意見がある。

問) より多くの方にアンケートの回答がいただけるように、ウェブ、QRコードをぜひ活用しても

らいたい。

最後に、指定管理施設の管理業務・経理状況説明書の4ページの指定管理業務に係る収支状況のところ、収入と支出にそれぞれ、その他という項目があるが、令和5年度から令和6年度にかけて金額がかなり減少しているため、その内訳及び内容、減少した理由を教えてください。

答) 収入のその他については、令和6年度は預金の受取利息のみであった。令和5年度はこれに加えて、園内工事を行っていた工事業者から徴収した水道使用料が含まれている。また令和2年度から令和4年度については、科学館と共同負担している浄化槽保守点検費用などのうち、科学館負担分を収入として扱っている。

答) 支出のその他については、愛宕山子どもフェスティバル臨時駐車場仮設トイレの清掃費用、パソコンのウイルスソフトライセンス更新費用、看板取付け費用、パソコンの処分費用、機密書類溶解費用などである。

問) 令和5年度からはその他収入が減少しているが、科学館負担分の収入がなくなったという理解でよろしいか。

答) 共同負担している浄化槽保守点検費用の科学館負担分については、令和4年度まではその他収入として計上するとともに、同額の支出を計上していたが、令和5年度以降は会計の方法を変更し、科学館の負担分は、収入にも支出にも計上しないこととしたため、見た目上は、令和5年度以降のその他収入が減少している形となっている。

問) かつて、ライオンの池の掃除にライオンズクラブが協力していたことがあるが、現在はライオンの池の清掃はどのような形で行っているのか教えてください。

答) 職員が清掃をしている。



※山梨県立愛宕山こどもの国管理研修棟において山梨県青少年協会及び山梨県立愛宕山こどもの国の説明、質疑を行った後、山梨県立愛宕山こどもの国の現地視察を行った。